

令和6年度 大阪府立渋谷高等学校 第1回 学校運営協議会

【日時】 令和6年7月4日(木) 15:00～16:30

【場所】 会議室

【出席者】 佐藤琢志委員、福田真貴委員、上垣真起子委員、室留圭二委員、
佐々木里佳校長、田地浩教頭、中井長朗事務長、上寫伸次首席、元田綾子首席、
遠近香央里教務主任、常行隆文生徒指導主事 齋藤椋太書記

【次第】

- 1, 自己紹介
- 2, 会長、副会長選出 会長 佐藤委員 副会長 奥村委員
- 3, 令和6年度学校経営計画について
- 4, 事務局より報告
 - 1) R7教科書選定について
 - 2) 学校現状報告
- 5, 協議
- 6, 意見書について
- 7, その他

【議事録】(●事務局 ○協議会委員)(司会 佐藤会長)

3, 令和6年度学校経営計画について

校長:めざす学校像は、「生徒一人ひとりと丁寧に向き合い、確かな学びをサポートして、社会に貢献する生徒を育成する学校をめざす」、「確かな学力の育成」、「生徒の進路実現の支援」、「生徒の活動の活性化および基本的生活習慣・規律・規範の確立」である。特に「地域連携の推進」を通じて、地域に応援していただけるよう、渋谷高校の取組を積極的に伝えていきたい。

→協議会の承認を得る。

4, 事務局より報告

1) R7教科書選定について

○過去の教科書と比較して、現在の教科書は大きく変化したが、教科書選定における評価指標を知りたい。

●各科目の教科書を10項目5段階で採点し、最も点数の高かったものを採用している。本年度から3学年とも新課程に移行したため、それも踏まえ採用する教科書を決定している。教科書は以前に比べ、図や写真などは綺麗になったが、最近値段が上がってきている。

→協議会の承認を得る。

2) 学校現状報告及び協議

進路について

●大学定員厳格化の緩和や、進学を志す生徒の増加に伴い、ここ3年間で大学に進学する生徒の数が増加傾向にある。一般選抜をめざす生徒は10～15名だが、推薦等で受験する生徒の数は増加している。就職を希望する生徒は10名程度おり、企業からの求人数は1000件を超えている。

中高/地域連携について

●今年度入学生が定員に満たなかった現状をふまえ、生徒による母校訪問を実施し、渋谷高校の魅力を中学生に発信する工夫を行っている。学校説明会については、池田市内の中学生を対象にした説明会を、新たに8月に実施する予定である。地域連携では、近隣の保育園にボランティアとして数名の生徒を受け入れて頂いている。

教務について

●今年度より全学年が新課程に移行し、観点別の評価を行っている。ICT の拡充については、各教室への電子黒板の導入、一人一台端末の活用、ロイノート等を積極的に活用している。また、来年度の高校入試がデジタル採点となるため、それに向けて定期考査でもデジタル採点の使用を進めている。

○デジタル採点とは具体的にどのようなシステムなのか。

●生徒の答案をスキャンし、デジタルデータ化、パソコン上で採点を行うシステムである。おおよそ問題なく採点できるが、字が薄い答案はうまく読み込めず採点に手間がかかることもある。

○生徒の答案の字が薄く読み込めないという問題に対しては、細かな部分まで指導しなくてもいいのではないかな。読めないほど字が薄いような答案は、生徒自身の責任として取り扱っても良いと考える。

○字の読みにくさ、薄さに関しては渋谷高校だけの問題ではなく、現役の大学生でも同じような状況であるが、そうした中でデジタル採点を導入するメリットは何か。

●教員の採点にかかる労力の軽減が図れる。次年度の高校入試出願のデジタル化に合わせて、府教育庁が導入している。

生徒指導について

●自転車に関する近隣からの苦情が昨年度は13件あった。今年度現状3件のみ(6月末までの集計)であり、自転車通学のオリエンテーションが効果を発揮している。接触事故に関して、昨年度23件ほどだったが、今年は現状5件のみ(6月末の集計)であり、事故を起こしてしまった際の対応については今後も継続して指導していく。遅刻に関しては、最近増加傾向にある。身だしなみは各学年の指導により落ち着いている。

○自転車置き場において、駐輪についての注意喚起を行う張り紙があった。今の時代を鑑みると必要性を感じられない内容のため、撤去したほうが良いと考える。

○校門及び駐輪場内についての指導は良いと思うが、地域住民としては、校外での自転車の乗り方に関する指導もしてほしい。「言っても仕方ない」と感じてしまい、苦情件数が減ったのではないかな。自転車マナーに関しては、教員や大人が注意するより、生徒会が主体となり、生徒たちが考える方が良いのでは。

●週に2度、呉羽の里バス停付近にて教員が立ち、交通指導を行っている。地域住民の方にも、交通指導と見守りをしていただいている。

○自転車のヘルメット着用について、自転車通学を行っている生徒のうち、実際に着用している生徒はほとんどいない。努力義務であるうちは、周りの大人に言われても着用しない可能性が高い。こちらも教員や大人ではなく、生徒たち自身が中心になって変化させていく必要がある。

5, 意見書について

○意見書の提出はあるか。

●意見書の提出はない。

6, その他

○部活動の支援をしたいと考えている。渋谷高校の後援会は現状どのような様子か。

●後援会に関しては、定期的に会合を開催している。具体的な様子については改めてお伝えしたい。また、緑友会(同窓会)からも部活動を応援したいとのことで、総会で募金をいただいた。

○マスコットキャラクター「渋谷すばる」について、もっと前面に押し出して活用しても良いのではないかな。

○屋上にある天文ドームについて、以前地域住民と一緒に活用するような計画が持ち上がっていたが、コロナ禍もあり実現には至らなかった。今後そうした活用の予定はあるのか。

●今後検討する。